



NEWS No-5

森高校卒業生3名 教育実習 頑張ってます!! (6月6日～6月24日)

将来の高校教員をめざして、現在、3名の森高校卒業生が玖珠美山高校で教育実習に頑張っています。中学生に向けた「熱い」メッセージをご覧ください!!

梅木滉平君 (玖珠中学校出身 高知大学 理学部)

私の通っていた森高校は『学習プラス1』をモットーとしており、その一環としてパワーアップ森高プロジェクト(PMP)がありました。PMPの取組で、新聞記事について意見まとめたり、大学教授を迎え高い専門性に触れたり、さまざまな職種の方の話を聞いたりすることで、学ぶ意欲や進路意識が高まりました。この取組のおかげで、私は、自分の意見をまとめる力がつき、高知大学へ推薦入試で合格することができました。大学生活の中でレポートを書くときにもPMPの経験が生かしています。しかし、もともと私は自分の意見をまとめるということが苦手で、PMPが始まったばかりの頃は、自分の書いた新聞記事の要約を全て書き直すよう担当の先生に指示されたこともありました。それにくじけず記事の要約に挑戦することで、少しずつ自分の意見をまとめる力がつきました。玖珠美山高校となり、森高校と玖珠農業高校の特色を持った高校になっています。中学生の皆さんも、学習はもちろんのことですが、学習だけでなく様々なことにチャレンジできる玖珠美山高校で、充実した高校生活を送りましょう!!



佐藤功一君 (南山田中学校出身 西日本工業大学 工学部)

高校時代、私は陸上部に所属しており、上級大会出場や自己記録更新を目標に励んでいました。部活動での一番の収穫は交友関係が広まったことでした。同じ高校の先輩・後輩との交友はもちろん、1年に数回行われる他校との合同合宿で、励まし合いながら共に走りぬいた仲間とは今でも交流が続いています。私が高校時代を振り返るときに部活動は欠かせません。高校生活のメインである学習では、私は国公立大学クラスに所属し、クラス全員で大学受験に向けて勉強していました。しかし生半可な努力ではなかなか良い結果が出ず、受験期は非常に苦しい思いもしました。そんな受験期を乗り越えることができたのは、素敵な先生方の存在があったからです。教科指導だけでなく、進路を一緒に考えてくれた先生方の存在はとても心強かったのを覚えています。そして今回、玖珠美山高校に教育実習生として帰って来れたことを嬉しく思います。玖珠美山高校では充実した学習や課外活動、素敵な先輩や先生方がみなさんを待っています。きっと充実した高校生活が送れることでしょう。将来、私が教師として、皆さんが玖珠美山高校の生徒として出会えることを楽しみにしています。



増田由起さん (南山田中学校出身 東京学芸大学 教育学部)

入学当初から進学という目標を抱きながらも勉強に身が入るわけでもなく、漠然とした毎日を送っていました。最終的に進路を決めたのは3年の秋でしたが、日々の授業や課題に真剣に取り組むことで自然と学力を身につけることが出来ました。それは個々の生徒に対応し、丁寧に学べる環境があったからだと思っています。また、大学受験にあたり先生方はとても親身になって共に悩んでくださいました。日々丁寧な指導と対策を、時には夜遅くまで付き合ってください、そのおかげで志望校に合格することが出来ました。時に優しく、時に厳しく接してくれる先生との距離が心地よく、とても素晴らしい学校の雰囲気であり、それが大きな魅力だと感じています。私は1年生の頃から剣道部に所属していました。部活動と学業の両立は楽ではありませんでしたが、最後まで続けられたことが自信となっています。なかなか思うようにいかないこともありましたが、目標をもって取り組むことができ、日々の充実とともに自身が成長する機会となりました。そして何より、今でも自分を励ましてくれる友人たちに出会えたのは、地元の学校だったからだと思っています。この玖珠町で高校3年間、学び、遊び、過ごせたことは間違いなく私の糧となっています。

